



ちよつと 出かけて みませんか？

●文化財巡り・散策コース

岩槻駅 → ①郷土資料館 → ②遷喬館
→ ③時の鐘 → ④岩槻公園 → ⑤浄安寺
→ ⑥久伊豆神社 → ⑦十三重塔(玄奘塔) → ⑧慈恩寺 → 東岩槻駅



① 郷土資料館

市内の農具、民具を中心とする民俗文化財が収集・保存されています。昭和57年旧岩槻警察署の建物を活用し、市民文化の向上を目的として開設されました。



② 遷喬(せんきょう)館

寛政11年(1799年)、岩槻藩士児玉南柯が開設した私塾で、後に藩校となりました。建物は木造平屋建茅葺きの構造で、藩校として現存しているのは県内仅此だけです。(現在復原修理中のため、見学はできません。)



③ 時の鐘

寛文11年(1671年)、岩槻城主阿部正春が設置しました。以来、享保5年(1720年)の改鑄を経て、現在に至るまで美しい音色が市民に時を知らせています。



④ 岩槻公園

自然林に囲まれた起伏の多い公園で、岩槻城社の土塁が今も残っています。古くから桜の名所としても知られ、園内の池には朱塗りの八つ橋が架けられ、家族連れで楽しめます。



⑤ 浄安寺

岩槻藩士で儒学者の児玉南柯、岩槻藩初代藩主高力清長の墓があります。この山門は江戸時代、槍返しの門と呼ばれ、今日に伝えられています。



⑥ 久伊豆(ひさいず)神社

岩槻の総鎮守。境内には、県指定天然記念物の大榎(樹齢300年)があります。神社の周囲は、埼玉県の「ふるさとの森」と「埼玉県の自然百選」の一つに選ばれ、森に囲まれた野鳥の宝庫でもあります。



⑦ 十三重塔(玄奘塔)

「西遊記」で知られるびんしよう玄奘三蔵法師の霊骨塔で、昭和25年、当時の住職によって建立されました。霊骨塔は全国でここ1か所、ここから奈良の薬師寺に分骨されました。



⑧ 慈恩寺

坂東33番観音霊場の12番札所として有名で、天長年間(824年～834年)慈覚大師円仁が開山しました。徳川家康から寺領100石を拝領した格式高い寺です。

一口メモ

さいたま市と岩槻市を通勤・通学で行き来している人数(15歳以上の人:平成12年・国勢調査)を調べてみました。

●岩槻市外へ通勤・通学している岩槻市民32,612人のうち、さいたま市へ通勤・通学している人は8,767人、全体の26.9%を占めています。内訳として、通勤している人7,550人、通学している人1,217人でした。

●岩槻市外から岩槻市へ通勤・通学している人27,342人のうち、さいたま市民は5,383人で、全体の19.7%を占めています。内訳として、通勤している人4,526人、通学している人857人でした。

さいたま市へ

8,767人

岩槻市民

さいたま市民

5,383人

岩槻市へ